

健康ぷらざ

No.143

企画:日本医師会

子どもたちの 結核の予防対策が 新しくなりました。

かつては猛威を振るい、その後ほとんど見られなくなった結核ですが、ここ数年再び増加しています。

患者さんは若い人よりも

抵抗力の弱い高齢者に多く、

学校や福祉施設などでの集団感染も

増加しています。

一方、新規の患者さんが子どもから

見つかることは大変少なくなりました。

そのため、これまでのような小・中学生への

ツベルクリン反応検査・BCG接種では、

結核の発見や予防があまり期待できなくな

ってきたのです。

そこで、もっと効率の良い予防対策が

実施されることになりました。



新しい予防対策

- 乳幼児（生後6カ月まで）への直接BCG接種の徹底*
*乳幼児への直接BCG接種には法改正が必要のため、平成16年以降に導入の予定
- 結核患者の近くにいた人、咳や痰等の結核症状等が長く続く人たちに対する健診の強化と早期指導

これまでの子どもの結核予防対策

- 小学一年生・中学一年生へのツベルクリン反応検査およびBCG接種



指導：日本医師会常任理事 雪下 國雄

◆待合室等に掲示し、患者さんにおみせください。